



風しんに注意しましょう! ワクチン接種で感染予防

令和3年11月17日

富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和3年第45週分・11月8日～11月14日)

《インフォメーション》

●風しん(ふうしん)

2018年の夏以降、関東を中心に風しん患者数が急増し、同年の全国における患者報告数は2,941件、2019年には2,298件と大きな流行が発生しました(右表)。2020年には101件となり、今年は10月末までに全国で10件の報告がされています。県内では、2018年に12件、2019年に3件の報告がありました。

風しんは、風しんウイルスを原因とする感染症です。風しんウイルスは、患者の飛沫(唾液のしぶき)などによって感染します。潜伏期間は2～3週間で、主な症状として発熱、発疹、リンパ節の腫れが認められます。妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんウイルスに感染すると、赤ちゃんが、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に病気がある、発達が遅い等の症状を有する先天性風しん症候群(CRS)になる可能性があります。2021年にCRS症例は全国で1件報告されています。

風しんおよびCRSは、ワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)で予防することができます。妊娠を希望される方は、妊娠前にあらかじめ2回の予防接種をし、風しんに対する免疫を付けておくことが重要です。妊娠中は風しんワクチン(生ワクチン)の接種が受けられないため、周囲の人が予防接種で免疫を付けて、妊婦を風しんの感染から守ることも大切です。また、風しん患者は30～50代の男性に多くみられ、この年代の男性は抗体保有率が低いことが報告されています。厚生労働省では、定期予防接種を受ける機会がなかった昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、風しんワクチンの定期接種を行っています。対象となる方は、2022年3月末までの間、市区町村から送付されるクーポン券を使用することで、原則無料で抗体検査を受けることができます。また、抗体が陰性であれば、ワクチン接種を行うことができます。対象の方は積極的に抗体検査を受け、風しん、CRSが無い社会を目指しましょう。

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 5件(①20歳代、女性 ②40歳代、男性 ③70歳代、男性 ④80歳代、男性 ⑤90歳代、男性)

五類感染症 梅毒 1件(30歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位7疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	3.00(↑)	2.28
2位	手足口病	2.17(↑)	1.55
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.66(↑)	0.41
4位	ヘルパンギーナ	0.59(↓)	0.72
5位	突発性発しん	0.41(↑)	0.38
6位	水痘	0.14(↑)	0.03
	流行性角結膜炎	0.14(→)	0.14

風しん患者報告数

年	全国	富山県
2016	126	0
2017	91	0
2018	2,941	12
2019	2,298	3
2020	101	0
2021*	10	0

*第44週までの報告数

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第45週 令和3年11月8日～令和3年11月14日）

分類	疾患	今週報告分（第45週）						累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症								379	282	1,079	299	2,150	98	4,287
二類感染症	結核	1	2		1	1		5	12	8	32	17	55		124
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	7	1	6		15
四類感染症	E型肝炎								3				2		5
	A型肝炎								1						1
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症								5	3	15	2	11		36
五類感染症	アメーバ赤痢								1				2		3
	ウイルス性肝炎								2				1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										2	2	5		9
	急性脳炎										1		1		2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										6	2	2		10
	後天性免疫不全症候群								1			2	1		4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		3		14		18
	水痘（入院例）									1			1		2
	梅毒						1	1	1	1	5	1	28		36
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風											1			1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5			
RSウイルス感染症			1					1	132	131	1,578	391	828		3,060
咽頭結膜熱		1	1	1				3	45	41	155	7	148		396
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1		6	5	7		19	76	39	474	97	277		963
感染性胃腸炎		15	15	18	4	35		87	763	443	611	240	1,363		3,420
水痘			1		1	2		4	1	16	29	21	61		128
手足口病				50	10	3		63	7		124	49	19		199
伝染性紅斑									1	1	9	1	19		31
突発性発しん				3	4	5		12	55	32	149	59	138		433
ヘルパンギーナ		1	1	9		6		17	34	30	98	4	60		226
流行性耳下腺炎									3	2	10	8	13		36
流行性角結膜炎		1						1	5	1					6
細菌性髄膜炎												1	2		3
無菌性髄膜炎													2		2
マイコプラズマ肺炎											2	9	1		12
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1						1
インフルエンザによる入院患者（※2）												1			1

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週（9月6日）～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年10月分）

		10月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症		1	2		10	13		4	15		77	96
			1.00	0.67		2.50	1.30						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症		3		1	1	5		8	5	4	36	53
			3.00		1.00	0.25	0.50						
	尖圭コンジローマ					2	2				6	17	23
						0.50	0.20						
	淋菌感染症					6	6	1				21	22
						1.50	0.60						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	1	5	2	6	15	7	11	26	14	48	106
		1.00	1.00	5.00	2.00	6.00	3.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1			1	3		16	1	1	21
				1.00			0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。